

ようこそ、ビールまつり!

Willkommen, Bierfest!

プレイ時間: 20 分
プレイ人数: 3~5 人
対象年齢: 8 歳以上

今日は、ビールをたらふく美味しく飲むお祭りの日。
ただし、やみくもに飲むのは考えものです。美味しく飲むには
タイミングが大事。飲みたい気持ちをできるだけ高めてから
味わうこと、これが大切なんです。
でも、時折訪れる全員強制参加の「乾杯」が、あなたの都合を
邪魔します。はたしてあなたはどれだけビールを美味しく堪能
することができるでしょう?

1 ゲームの内容物

ビールカード (5 種類 / 各 13 枚)



K ケルシュ W ヴァイツェン A アルト D デュンケル P ビルスナー

フードカード
(2 種類 / 各 10 枚)



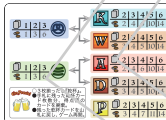
◎ ブレッツェル ◎ ソーセージ

乾杯カード
(10 枚)



※他に、筆記用具があると
得点計算時に便利です

サマリーカード
(5 枚)



1

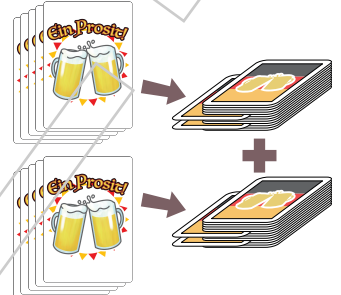
《カードのみかた》



2 遊ぶ準備

(1) 山札の準備

ビールカードとフードカードを
一緒によく切ってから、2 つの
山札に分けます。(大まかで大丈夫
です)
それぞれの山札に、乾杯カード
を 5 枚ずつ適当に混ぜ、再度よく
切ります。(乾杯カードが適度
にばらけるようにしてください)
そして、2 つの山札をひとつに
重ね、プレイヤー全員の中央に置いてください。



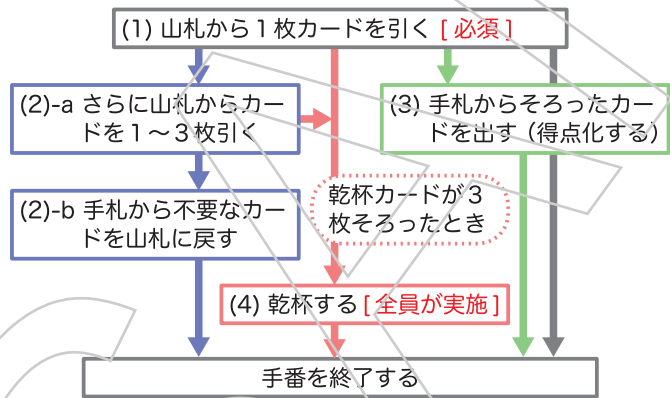
(2) スタートプレイヤーの決定

最近、ドイツでビールを飲んだ人がスタートプレイヤーです。
もし、いなかった場合は、しかたがないので、最近、ドイツのビー
ルを飲んだ人がスタートプレイヤーでもいいです。

2

3 遊び方

各プレイヤーは、自分の手番に次のプレイを行います。(詳細
は後述します)
手番が終了したら、左隣のプレイヤーに手番が移動します。



(1) 山札から 1 枚カードを引く [必須]

山札の上からカードを 1 枚引いて、手札に加えます。パスはでき
ません。必ず引いてください。

そのあとは、「(2) さらに山札からカードを引く」、または、「(3) 手
札からそろったカードを出す」の、どちらかを行うことができます。

もし、乾杯カードが 3 枚そろった場合は、即時に「(4) 乾杯する」
を全員で行います。

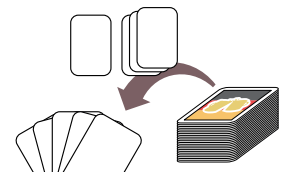
なお、カードを 1 枚、引いた時点で、手番を終了しても構いません。

(2)-a さらに山札からカードを引く

山札の上から 1~3 枚まで、さらに引くことができます。いっ
ぺんに全ての枚数を引く必要はありません。

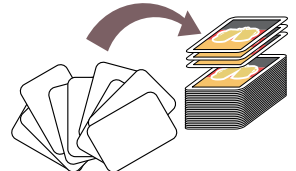
(2)-b 手札から不要なカードを山札に戻す

山札からカードを引き終わったら、手札のカードを山札に戻すこ
とができます。戻せる枚数は、
(1) で引いた 1 枚も含めて、引いた枚数から 1 枚差し引いた枚数ま
です。
つまり、自分の手番では、最低 1
枚、必ず手札が増えるということ
になります。



山札に戻すカードは、その手番で
引いたカードだけではなく、手札
のどのカードを戻してもかまいま
せん。
つまり、不要なカードを手放して、
手札を入れ替えられるということ
です。

山札から 4 枚 (必須の 1 枚 +
任意の 3 枚) を引いたら



山札に戻すときは、山の一番上に
裏向きに置いてください。

つまり、山札に戻したカードは、
次の手番プレイヤーや、場合によ
ってはさらに次の手番プレイ
ヤーが引くカードになるというこ
とです。ですから、戻すカードの並び順も考えて戻すとよいでし
ょう。

手札から 3 枚まで山札の上
に戻すことができます

(3) 手札からそろったカードを場に出す

《ビールカード》

手札から、同じ種類が**2～6枚そろったビールカードを1組だけ**、自分の手前（場と呼びます）に、表向きにして出します。**1枚だけでは出せません。**

出したカードは、ゲーム終了時に、その枚数に応じた得点になります。得点配分は、カードの右上に書いてあるとおりです。

《フードカード》

フードカードは、**ペアになれるビールカードと一緒に、1～3枚のそろいで出すことができます。**フードカードだけでは、**出せません。**

出したカードは、ゲーム終了時に、その枚数に応じた得点になります。

【注意1】

手札にそろっているカードが何組あっても、**1回の手番で場に出せるカードは1組だけ**です。出すタイミングを逸することのないよう気をつけてください。

【注意2】

カードは、場に出した時の枚数が得点となります。もし、同種類のカードが2組以上、場に出ていても、ひとつのそろいにまとめてはいけません。ですから、場に出すときは、カードのそろいは、混ざらないように置いてください。

(4) 乾杯する（手札の強制的な整理）

前述の(1)や(2)で山札からカードを引いたときに、**乾杯カードが手札に3枚そろったら、その時点で、即時に「乾杯」を行います。**「乾杯」では、手番のプレイヤー（つまり乾杯カードを3枚そろえたプレイヤー）から順番に**全プレイヤーが、次の手順で手札すべてを整理**します。

5

① 3枚の乾杯カードを取り除く

「乾杯」を起こした3枚の乾杯カードを、ゲームから取り除きます。箱にしまう等、他のカードと混ざらないようにしてください。

② ビールカードを1組、場に出す

（もし、そろっているビールカードがあれば）**ビールカード1組**を場に出します。そろっているビールカードが数種類あっても**出せるのは1組だけ**です。

また、「乾杯」では、**フードカードと一緒に出すことはできません。**出せるのはビールカードだけです。

③ 手札に残った乾杯カードを山札に戻す

手札に乾杯カードがあった場合は、その枚数分、場に出してあるビールカードやフードカードから、カードを取り除いてください。どのカードを取り除くかは、自分で決めてかまいません。

そのあと、乾杯カードは、**山札の適当な場所に戻してください。**山札の残りの枚数が少なく、乾杯カードを戻した位置が判ってしまいそうな場合は、山札の上の2枚をいったんよけて（前の手番プレイヤーが置いたカードかもしれないので）よく切り、よけた2枚を上に戻すようにしてください。

【注意3】

ビールカードは2枚以上で得点になります。カードを取り除いた結果、1枚になってしまった場合は、一緒に取り除いてください。また、フードカードのみで場に残ることもありません。

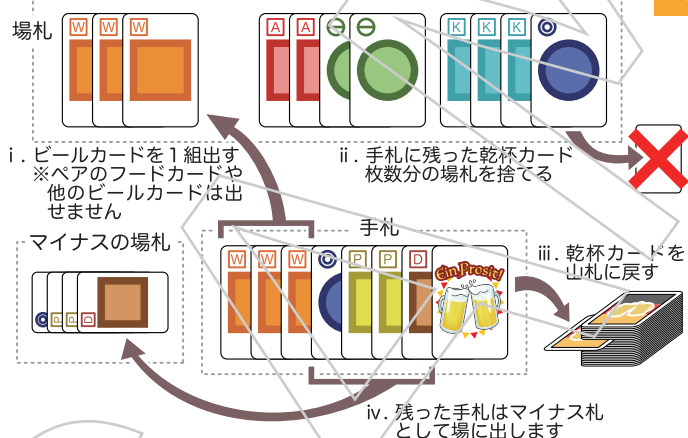
④ 残った手札の処理

残った手札は、すべて1枚、－1点となります。横向きにする等、マイナス点のカードと判るように、表向きで場においてください。

6

《「乾杯」のカード処理の例（手番プレイヤーではなかった時）》

7



【注意4】

乾杯カードは手札に残すと、場札の廃棄による減点のリスクもありますが、自分が3枚そろえてしまえば減点にはなりません。また、他のプレイヤーに乾杯を起こさせる方がよい場合も、自分が起こした方がよい場合もあります。手札の状況によって、乾杯カードを残すか、次手番プレイヤーに引かせるかなどを考えてプレイしてみてください。

4 ゲームの終了

「乾杯」を3回行ったら、ゲームは終了となります。

または、**山札がなくなったら**ゲームは終了です。

このときは、乾杯カードが3枚そろってなくても、「乾杯」を行います。

8

この山札がなくなった「乾杯」に限り、「乾杯」を起こしたプレイヤー（つまり最後の手番プレイヤー）は、例外として、山札から引いたカードのうち、手札にしたいカード（つまり、得点につながらないカードや3枚にならなかった乾杯カード）は、手札に加えなくてもかまいません。

5 得点計算

場に出されたカードの得点を合計してください。得点化できなかったカードの枚数を減点してください。

5種類のビールカードすべてを場に出すことができたプレイヤーには、**ビール全種類制覇のボーナスとして、5点**が与えられます。（フードカードは、どんなに集めてもボーナスにはなりません）

6 勝者

得失点の合計点数が一番高い人が勝者です。おめでとう！

7 謝辞

テストプレイに協力していただいた皆様に最大の感謝を。本作はテストプレイにおいて多くの示唆をいただいたことにより、完成することができました。ありがとうございました。



ゲームデザイン / アートワーク 居酒 枕
製作 十式ゲームワークス
初版 2017/12/02

WEB site
E-mail

<http://10shikigameworks.sakura.ne.jp/>
contactus@10shikigameworks.sakura.ne.jp